

鹿市医郷壇



地

上町支部 吉野なでしこ
鹿児島では雑巾を、雑巾と言います。

因みに、布巾は「布巾」と言います。

部屋ん掃除ルンバ任せで綺麗てこつ
(唱) スイッチポンで街中出でランチ

センサーで障害物を避けて掃除をしてく
れるらしいです。主婦待望の掃除機のよ
うです。でも広々とした、部屋なら良い
でしょうが、足の踏み場もないよつた、
指毛など、使えるか心配です。

でも何はともあれ表面だけでも、手を
下さずに綺麗になるなら、これ以上言つ
事ないでしょ。

517 桶口一風選

兼題「掃除(そつ)」
天 伊敷支部 谷山五郎猫

大掃除の後ん楽しま焼酎一杯
(唱) 其いが目当てで凄ぜ励けつ

(評) 奥さんは、年末の大掃除には背の
高いお父さんを待つていました。天井や
高い所の掃除は毎年、お父さんの役目に

なっています。
その代わり掃除が済んだら、『駆走と
焼酎が待っているのが、この家の毎年の
年の暮れの行事です。大掃除は意外と達
成感があるのですが、高いところの掃
除はかねて使わない筋肉を使うので疲れ
るもので、「後ん楽しま」が良いです。

人 清瀧支部 鮫島爺兒医

大て雑巾く味方で廊下を綺麗つ掃除
(唱) 省エネじゃつち手抜く考つ

(評) 最近は、雑巾掛けはあまり聞かな
いが、むかしさは、学校の廊下の床の拭き
掃除はお尻をおつたてて雑巾を押して走
らされるものでした。幅の広い雑巾を使つ
て、樂をしようと考へている頭の良い人
のことを揶揄した句。「大て雑巾く」か
「広れ雑巾く」か迷いましたが、原句通

田渕すすけ
綿ばこいさつと一拭つ楽な掃除
上町支部 吉野なでしこ

どうしても、両方詠みたいときは、
化粧しいな念が入つどん呆やし掃除
とでもすると、掃除に重さが出てきます。

秀逸

清瀧支部 鮫島爺兒医
庭ん掃除化粧も上手な女房が居つ
泥棒も掃除の綺麗な家は避けつ

伊敷支部 谷山五郎猫
掃除ずして塵が残つち女房ん声

作句道場
兼題に忠実に
掃除と化粧言葉は違ひが気は同じ
と言う句がありました。そうだと納得
出来る面白い句です。自由吟なら何も言
う事のない句です、しかし兼題の場合は少し違います。今
月の兼題は「掃除」でした。この句は、
掃除と化粧と並列に詠んでおり、化粧と
掃除のどちらも同じ重さです。化粧を詠
んだのか、掃除を詠んだのか、はつきり
わかりません。

もへ師走女房が氣を揉ん歳暮吟味
松元 準一

家庭でも、畳の表替えや障子張りなど、
年用意があるうし、主婦など、お歳暮を
じつしょくかと氣を揉む時期でもある。
こんな時期になると、もう師走か、月
日の流れは速いなあと言つ気持ちがする
もの。

薩摩郷句募集

伊敷支部 谷山五郎猫
掃除ずして塵が残つち女房ん声

作句道場
兼題に忠実に
掃除と化粧言葉は違ひが気は同じ
と言う句がありました。そうだと納得
出来る面白い句です。自由吟なら何も言
う事のない句です、しかし兼題の場合は少し違います。今
月の兼題は「掃除」でした。この句は、
掃除と化粧と並列に詠んでおり、化粧と
掃除のどちらも同じ重さです。化粧を詠
んだのか、掃除を詠んだのか、はつきり
わかりません。

もへ師走女房が氣を揉ん歳暮吟味
松元 準一

2号 題吟 「鬼(おん)」
令和5年1月6日(金)
3号 題吟 「絵馬(えま)」
令和5年2月6日(月)
締切 選者 桶口一風

大手術でもした際、病状が急変して、
危篤状態が続いたのかもしれない。あと
二、三日が山だ、などと言われて、看病
する方も必死、おそらく、ろくに食事も
とらずに、徹夜から徹夜の看病が続き、
心身ともにくたくたになつたのだろう。
ところがその病人が、快方に向かつて、
笑顔を見せるようになつたのである。ほつ
としたり、嬉しくなつたりで、今までの
看病疲れもふつ飛んでしまつたというも
のである。人情味あふれる句。

応募先 千八九一〇八四六
鹿児島市加治屋町三番十号
TEL ○九九・二二六・三七三七
FAX ○九九・二二五・六〇九九

師走の声を聞くと何となく氣ぜわしい
思いをするものである。商店街の歳末商
戦の音に加えて、今年は衆院選挙で、一
段と喧騒になりそうである。

りにしました。

鹿児島では雑巾を、雑巾と言います。
因みに、布巾は「布巾」と言います。

部屋ん掃除ルンバ任せで綺麗てこつ
(唱) スイッチポンで街中出でランチ

センサーで障害物を避けて掃除をしてく
れるらしいです。主婦待望の掃除機のよ
うです。でも広々とした、部屋なら良い
でしょうが、足の踏み場もないよつた、
指毛など、使えるか心配です。

でも何はともあれ表面だけでも、手を
下さずに綺麗になるなら、これ以上言つ
事ないでしょ。

5客一席 上町支部 吉野なでしこ
晦日掃除隅くじらずい綺麗つなつ
(唱) あと百円ぬ財布があ足せつ

大掃除で出た百円なお賽銭
(唱) 一年振で氣持良座敷

五客三席 清瀧支部 鮫島爺兒医
家の掃除が見事ち座敷で言事どま無し
(唱) 見事ち座敷で言事どま無し

五客四席 伊敷支部 谷山五郎猫
大腸を掃除ずした後で内視鏡
(唱) も少とじやつちも一瓶飲ん

五客五席 清瀧支部 鮫島爺兒医
横着な奴が掃除の時間な何處か行つ
(唱) 済ん頃れなれば帰つて平然

家庭でも、畳の表替えや障子張りなど、
年用意があるうし、主婦など、お歳暮を
じつしょくかと氣を揉む時期でもある。
こんな時期になると、もう師走か、月
日の流れは速いなあと言つ気持ちがする
もの。